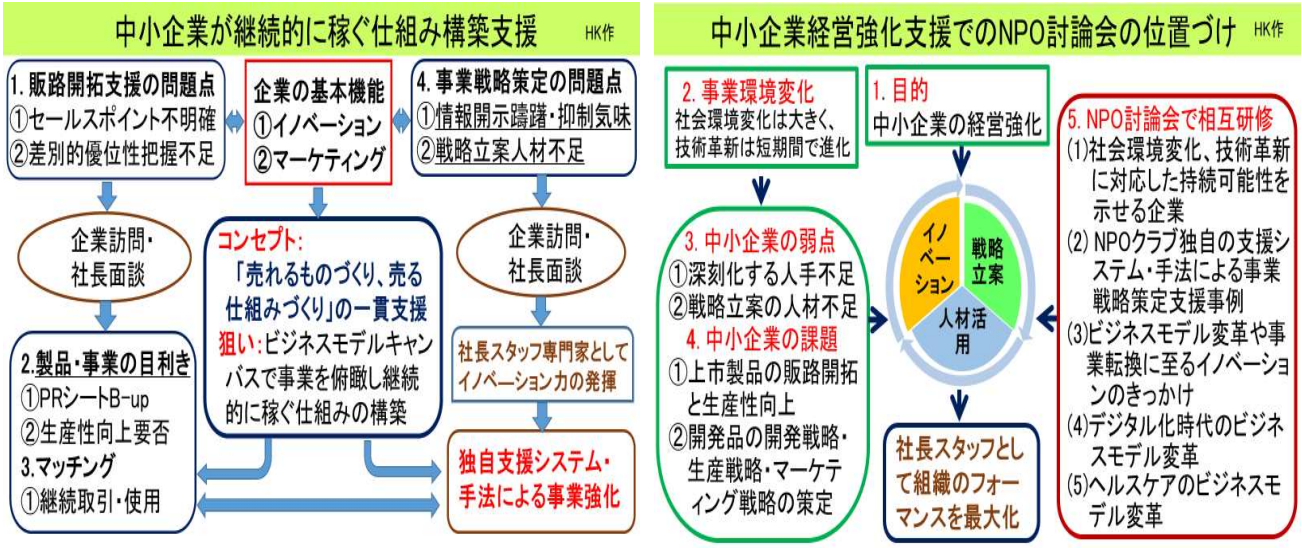
「中小企業経営強化支援での NPO 討論会の位置づけと活動状況」

中小企業は「やりたいことがある」、「つくりたいものがある」の意図はあるが人材不足と社長に業務が集中し過ぎ、「構想がまとまらない」、「調査が進まない」等の問題点が多い。一方、経営支援 NPO クラブ会員が中小企業経営支援で製品・顧客イノベーションやビジネスモデル変革等で成果を挙げるには、社会環境変化、技術革新が大きく且つ迅速であるのでこれまでの認知資源が陳腐化しないよう研鑽すると共に総合的な対応力が必要である。「中小企業経営強化研究会」を発足させて、事業戦略策定支援、計画実行支援等の質的向上を図ることを目的として「NPO 討論会」年 3 回程度開催して会員相互研修をすることにした。



第 1 回討論会(3/26)は、メインテーマ:「持続可能な開発目標(SDGs)の環境・社会・経済面の経営への取組み」を掲げ、中小企業の SDGs ビジネスの取込み事例紹介や環境に優しい植物由来素材への期待と問題点等を 3 テーマ(ナビゲーター3 名)について情報・意見交換を行った。環境や安全等で「持続可能性を示せる企業」になるために、社会環境の変化や産業の新陳代謝が著しい現状認識を深めた。

第 2 回討論会(4/16)は、メインテーマ:「事業戦略策定支援、計画実行支援の事例検討会」を掲げ、NPO クラブ独自の支援システムをレビューした後、平成 30 年度の仙台市ものづくり実現可能性調査事業から 4 事例、及び平成 28 年度から 2～3 年継続支援した経済産業省地域中核企業創出・支援事業から 3 事例を紹介して、活動時に「苦労したこと」、「良かったこと」、「改良したいこと」等を中心にして、会員間の情報の共有化をした。

第 3 回討論会(5/30)は、メインテーマ:「社会環境変化、技術革新に対応したビジネスモデルの変革」を掲げ、中小企業事業強化のためのビジネスモデル変革や事業転換に至るイノベーションのきっかけやマーケティング要素の観点を踏まえ、どのように事業戦略立案したかの成功事例、失敗事例を分析しビジネスモデルのパターンや構築について討議する。さらに、近年の「デジタル化時代」で製品とサービスの統合を通じて顧客企業の問題解決に貢献や新しいビジネスが生まれる等のビジネスモデル変革について 4 テーマ(ナビゲーター4 名)で情報・意見交換を行う。(文:研究会 TL 金子壽光)